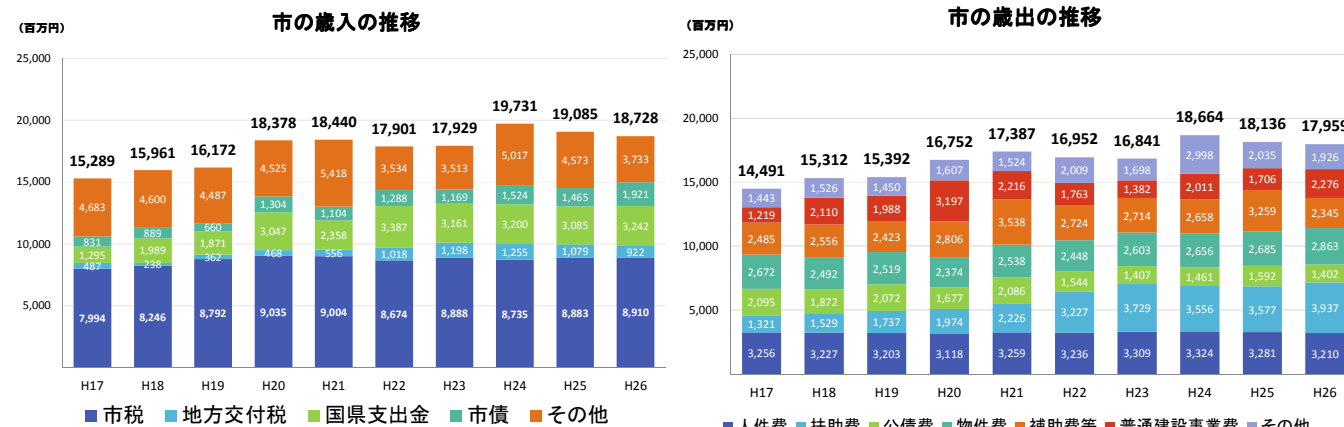


『白井市の公共施設等の現状と将来の見通し』（暫定版）

① 財政の状況

歳入は、ほぼ横ばいで推移しています。
歳出は、増加傾向にあり、扶助費は 22% 増となっています。



市の歳入は、ほぼ横ばいで推移しています。市税の占める割合は約 50% で、一般財源（使い道を自由に決められる財源。市税や地方交付税などがあります）は歳入全体の 50% を超えています。

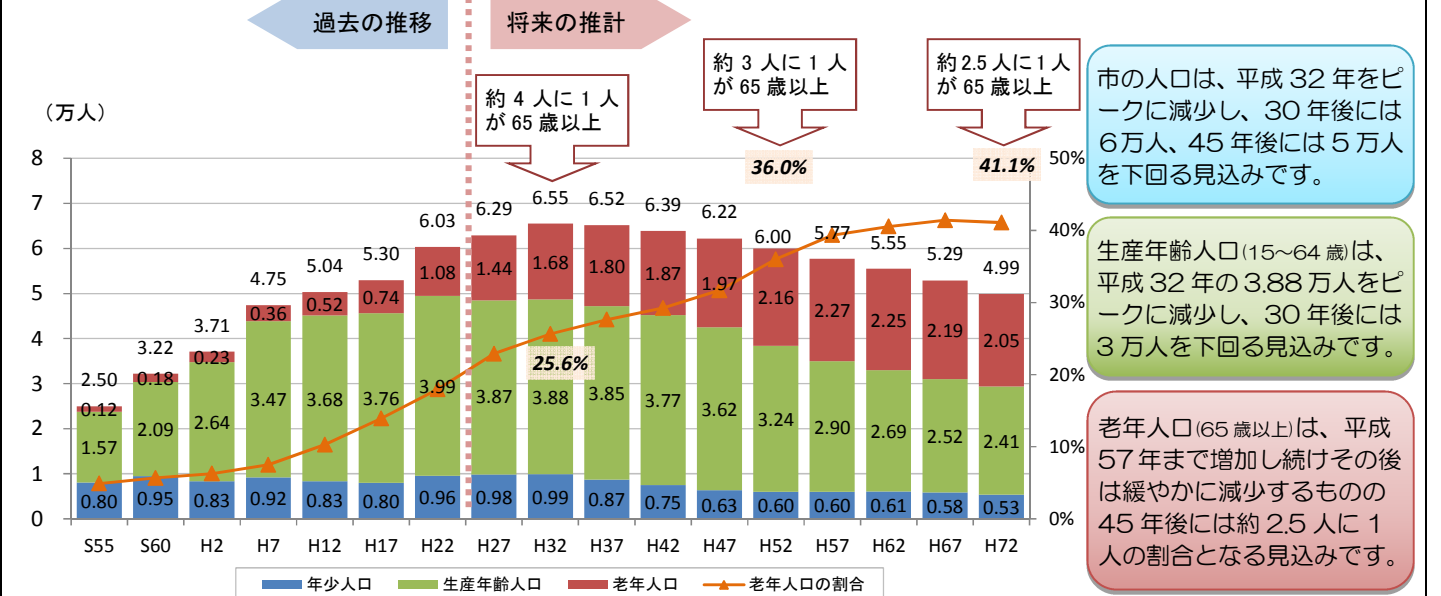
市の歳出は、増加傾向にあります。義務的経費（支出が義務付けられているもの）のうち、人件費は横ばい、扶助費（社会保障費など）は 22% 増、公債費（借入金の返還金）は 10% 減となっています。

歳入・歳出の推移

出典：地方財政状況調査関係資料における決算カード

② 人口の将来推計

生産年齢人口(15 歳～64 歳)は減少し、老年人口(65 歳以上)は増加する見込みです。

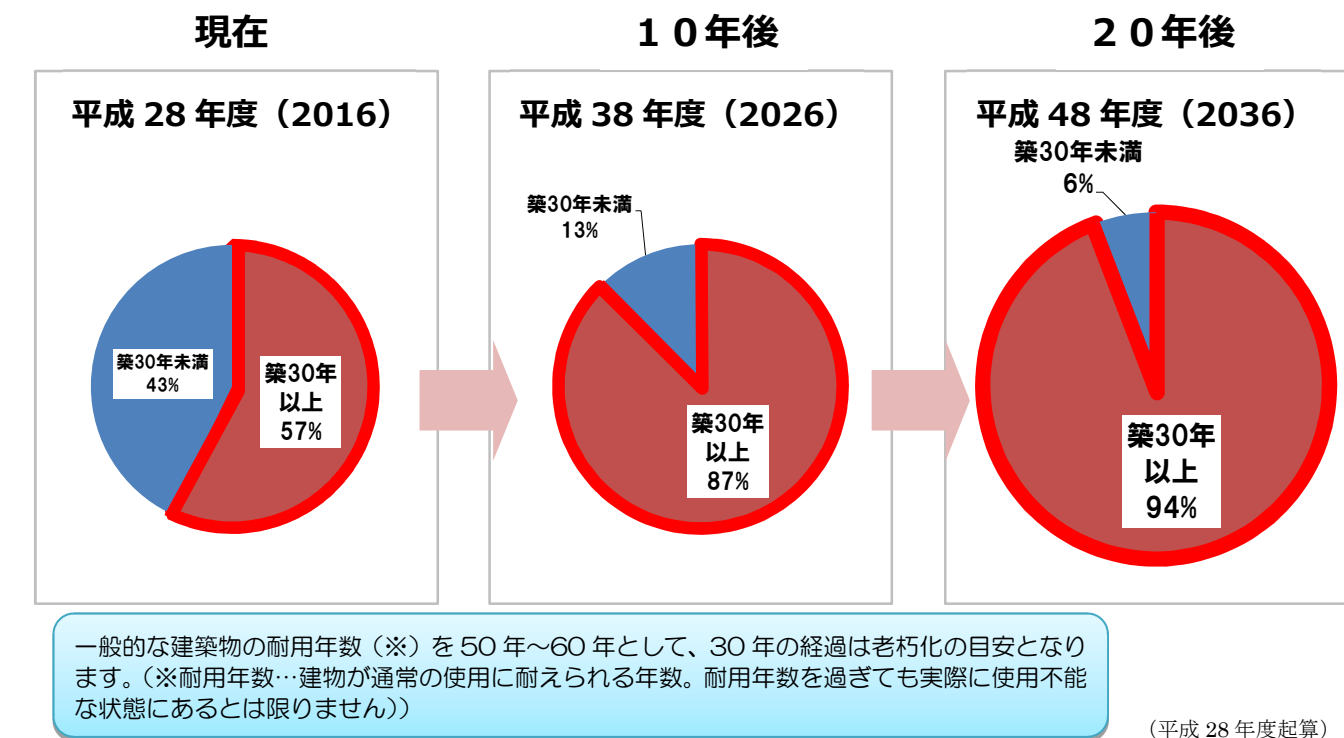


年齢三区分別の推移と将来推計 (人口)

出典：平成 22 年までは国勢調査。平成 27 年以降は白井市人口ビジョンにおける将来人口推計値
(注) 100 人未満を四捨五入して表記しているため、各年齢区分の合計が総人口の数値と合わない場合があります。

③ 建物の状況

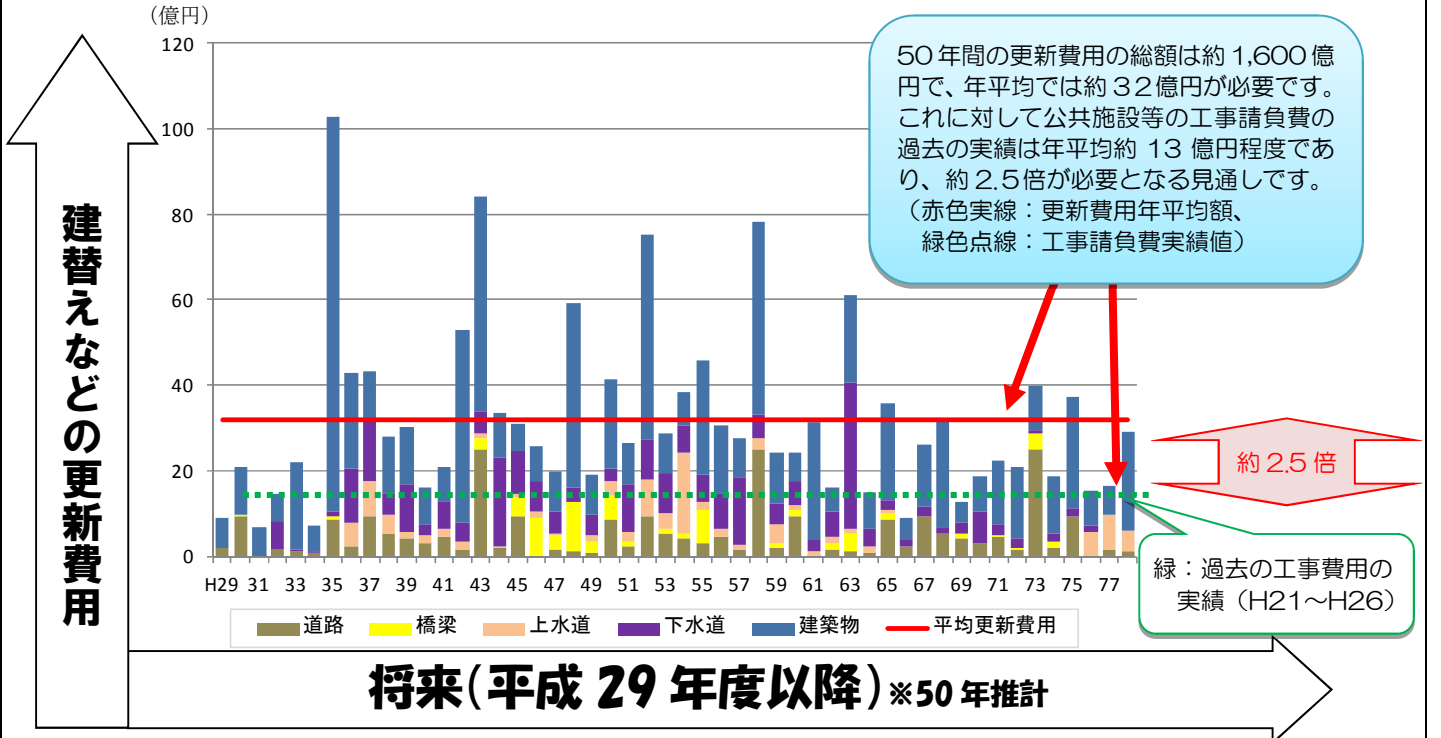
市の公共施設(建築物)の約 57% (延床面積) が建築後 30 年以上を経過しています。



出典：公有財産台帳ほか (平成 26 年度末)

④ 更新費用の推計

保有する全ての公共施設を更新し続けるには、過去の工事費実績の約 2.5 倍の更新費用が必要となる見通しです。



作成：白井市 総務部 行政経営改革課 (平成 28 年 4 月)

※有料公園施設を有する公園を掲載しています。

